

南昌だより

2016
No. 26
2016年10月1日発行



こずかた保育園 本誌P5



南昌病院 本誌P13



敬愛荘 本誌P8



志和荘 本誌P9



博愛荘デイケアセンター 本誌P7



悠和荘 本誌P10



矢巾町地域包括支援センター 本誌P4

医療法人社団 帰厚堂

【基本理念】

「愛と誠の精神」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される医療を提供するために
全ての専門職種による
チーム医療に万全を期します

社会福祉法人 敬愛会

【基本理念】

「地域と共に生き 地域と共に歩む」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される福祉サービスを提供するために
全ての専門職種による
チームケアに万全を期し
その人らしい生活が育まれるよう
支援します

2016
No. 26
Contents

- 2P… 巻頭言
- 3P… 全職員研修/スタッフ紹介
- 4P… こずかた診療所
… 矢巾町地域包括支援センター
- 5P… こずかた保育園
… デイサービスつむぎ
- 6P… 博愛荘

- … ショートステイやはば
- 7P… 博愛荘デイケアセンター
… 敬寿荘
- 8P… 敬愛荘
- 9P… 志和荘
- 10P… 悠和荘
… 敬愛会デイサービスセンター

- 11P… 若園荘
- 12P… 恒和荘
- 13P… 南昌病院
- 14P… 住民主体の介護予防と地域づくり
- 15P… Topics/サルコペニア
- 16P… 診療案内



紫波郡地域包括ケア推進支援センター 運営事業がスタート!



医療法人社団帰厚堂・社会福祉法人敬愛会 参与 岡村 鋭次

(紫波郡地域包括ケア推進支援センター所長兼任)

◆10月、紫波郡地域包括ケア推進支援センター (広域型在宅医療連携拠点) 運営事業開始

紫波町及び矢巾町では、これまで、今後の75歳以上の後期高齢者の増加に伴う独居・高齢者世帯や要介護高齢者等の増大に対応するため、医療・介護・福祉サービス等の拡充や地域の支援の方向などについて、地域の関係者と検討を進めてきました。

本年7月には、紫波町及び矢巾町が本年共同で設置した紫波郡地域包括ケア推進協議会（医療介護等関係者委員13人）において、①在宅医療と介護の連携②認知症対策③介護予防に連携・共同で取り組むことが了承されています。

特に、在宅医療と介護の連携については、本年10月から事業開始、ケアセンター南昌内に紫波郡地域包括ケア推進支援センターが開設されます。

◆紫波郡地域包括ケア推進支援センターとは

1) 事業の目的

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることかできるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。

2) 設置主体及び運営主体

紫波町及び矢巾町が共同で設置し、一般社団法人紫波郡医師会に運営を委託（医療法人社団帰厚堂に一部再委託）します。

3) 設置場所：ケアセンター南昌1階

(矢巾町又兵衛新田5-67-1 Tel.019-611-1381)

4) 今後の主な取組

ア 在宅医療における連携上の課題の抽出及びその対応策の検討等

(医療・介護等在宅医療に必要な資源の状況把握、医療・介護・福祉関係者等の意向調査、医療介護関係者向け療養資源リスト・マップ等の作成、主治医・ケアマネ連絡票や連絡方法等の標準化支援 など)

イ 在宅医療における切れ目のない体制づくり

(町や地域包括支援センター、医療・介護関係者への

相談支援、多職種連携、顔の見える関係づくり、実践的ネットワーク構築、情報提供・共有シート等の作成検討・運用支援 など)

ウ 在宅療養をする者に係る多職種による24時間の対応体制構築（症状急変時の病床（後方支援病院）の確保・運用検討、在宅医療従事者の休日・夜間や学会出席時等の代行診療等の連携支援体制の構築検討 など）

エ 在宅医療に関する人材育成・普及啓発支援（紫波町及び矢巾町等が実施する在宅医療研修、住民啓発、ニーズ調査、講演会等の企画運営支援 など）

5) 多職種連携研修会の開催等

①認知症初期からの治療・ケアと本人家族支援

②地域医療の動向と地域包括ケアの推進

③在宅療養・多職種連携の現状と今後の取組み方向

6) 相談窓口等の開設

①両町・地域包括支援センターに対して～地域包括ケアシステムの構築支援、医療介護の連携支援（住民の相談窓口は地域包括支援センター）

②医療・介護関係者に対して～医療介護（多職種）の連携に関する調整支援

◆今後の取組みに向けて

このセンターは、紫波町・矢巾町の在宅医療連携拠点として、紫波郡医師会が運営するものですが、医療法人社団帰厚堂の職員がスタッフの中心となり、関係法人である社会福祉法人敬愛会をはじめ、両町の医療・介護・福祉等関係者との連携協力のもとに運営するものです。

本センターの取組みが、高齢者の方々はもとより、将来を担う若者や子どもたち誰もが安心していきいきと暮らし続けることができるまちづくりの一助となることを念願しています。

関係者の方々や地域の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、センターの運営に取り組んでいきます。どうぞよろしくお願ひします。

成果を實踐に = 全職員研修 =

去る7月27日に畑中美耶子さんを講師に招き南昌病院で接遇の研修を行ないました。講師の畑中さんは、元IBC岩手放送のアナウンサーで、フリーとなってからはプロのアナウンサーネットワーク「パネット」を設立。また、旧県立図書館の建物を利用して開館した「もりおか歴史資料館」の館長でもあります。そのほか盛岡文士劇、一人芝居、子供劇団など、岩手では知らない人がいないくらいです。

この研修には、100名を超す職員が出席しました。盛岡弁を交えての語り口は、親しみやすさとその話術



に引き込まれ大変興味深く受講しました。選ばれる病院となるには、人に感動を与えられる人に、

人の第1印象は6秒で決まるので、笑顔をチェック講師から紙に「直線を引いて、その上に○を描いてください。」と云われて受講者全員が描きましたが、これだけでは、横線や縦線だったり、斜線もあったり、○を描くのに線の上に重ねたり、線に付いたり、線から離して上に描いたりと様々に描いていました。言葉で伝えるときは、しっかりと伝えなければ、トラブルにもなりかねません。「横に直線を書いて、線にかからないようその上に○を描いてください。」と話せば全員が同じように描くことができる。また、2人1組になって、1分間見つめ合って相手のことを30秒間でほめて、ほめた回数は何個かなどをその場で行ないました。中には14個以上ほめた者もいた半面、3個しかほめられなかった者もいました。「相手の良いところを見つける。」「第1印象が大事。」「人を見るときは良い目線で、良いところを見る。」など方言を交えて講演していただきました。私たちの事業所では、それぞれの事業所で、医療安全対策や院内感染対策など様々な研修を行なっています。もちろん研修は受けっぱなしではなく実践してこそ真価が問われます。今後も様々な研修を行い実践していきます。

スタッフ紹介 『お願いされたことは最大限なんでもやろう!』をモットーに

こんにちは!ケアセンター南昌事務の山口峻輔と申します。私は平成23年度の新採用職員として南昌病院事務に入社致しました、事務局の総務として働き今年で6年目になります。私の大学の専攻は工学系で事務員としてのスキルは、ほぼゼロ(かろうじてパソコン操作が出来る程度…)、事務員としても社会人としても本当に未熟で、先輩、上司の皆様日々ご指導いただき業務をこなしておりました。日々の業務の中で常に意識していたことは、「総務はなんでもやる事、他の職員が利用者様、患者様のために業務しやすいようにサポートする」ということです。これは私の上司に一番初めに教えていただいたことです。私は特別出来ることは何も無いけれども、『お願いされたことは最大限なんでもやろう!』そう思って今までやってき

ましたし、今ではそれをモットーとしています。

そんな中、平成24年12月17日(月)医療福祉多機能ビルケアセンター南昌の完成した日にケアセンター南昌1番目の職員として南昌病院から異動することとなりました。

そこから私の仕事は一変しました。出来たばかりの新しい建物、物も無ければ人もいない(最初の1ヶ月2人…)毎日がイベント状態。そして、今までなんでも教えてくれていた、先輩も上司もいない。どうしようと考えた結果、「これは自分がこのケアセンター南昌に詳しくなるしかない!!!」「今まで以上になんでもやるしかない」という結論にいたりしました。そして、ケアセンター南昌の本格始動までに、建設に携わった建設・建築・設備屋の担当者さんにトラブルが起きるたびに聞いて

て聞いて、聞きまくり設備の使い方を学びました。仕事は、雪掻きからセンターの見回り、内覧会へ向けた準備等を行い、本格始動するときには、センターの設備について少し詳しくなっていたため、私に「Mr. ケアセンター」のあだ名がつけました。今思えばとても名誉なことだったと思っております。

総務から始まった私の業務は今「総務兼設備担当」(どちらもまだまだ心もとないですが…)となりました。出来ることが少し増えても変わりません。私は周りの皆さんの力が無いとまだまだ未熟。皆さんに助けられている分少しでも力になれるようモットーを忘れず努力していきたいと思っております。



各施設から

こずかた診療所

施設紹介

内科外来診療のほか、通院困難な方への訪問診療などを行います。



訪問診療を開始しました。

こずかた診療所では、通院による療養が困難な患者様のご自宅を定期的に訪問する「訪問診療」（診察、治療、投薬、療養上の相談・指導等）を行っています。

【訪問診療の対象となる方】

- ご自宅で療養を行っている患者様で、「疾病・傷病」のために本人だけでは通院が困難な方
- 退院・退所が決まっている患者様で、通院が困難でご自宅等での療養に不安を感じている方

【訪問診療日】

当院では、外来診療と平行して『訪問診療』を行っております。そのため、訪問診療の時間を決めておりますのでご了承ください。

- 曜日
毎週水曜日（祝祭日等の場合を除く）
- 時間
13:15～15:30



【地域連携】



当院では『訪問診療』をチーム医療と位置づけ、訪問看護やケアマネジャー等、多職種の事業所と連携を取りながら患者様の療養をサポートします。

【良くあるご質問】

Q. 訪問診療はどれくらいのペースで診察になりますか？

A. 患者様の状態に応じて変わってきます。病状が安定している方で月1～2回の訪問が一般的です。

Q. 訪問診療を受けたいのですが、どうしたらいいですか？

A. 訪問診療は、事前に申込をいただいております。詳しい内容は訪問診療担当がご説明いたしますのでお気軽にご連絡ください。



お問合せ先

医療法人社団帰厚堂 こずかた診療所

〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵衛新田5-67-1

T E L : 019-698-3033 F A X : 019-611-2071

受付時間：9：00～17：00

矢巾町地域包括支援センター

施設紹介

地域の高齢者本人や介護者家族の困りごと・心配ごとの相談窓口。社会福祉法人敬愛会が矢巾町より委託を受け運営している。

RUN伴2012「チームやはば」

RUN伴（とも）とは、認知症の人や家族、支援者、一般の人が少しずつリレーをしながら1つのタスクをつないでゴールを目指すイベントです。今年は北海道から沖縄までの6500kmを走ります！

「チームやはば」は9月4日（日）、東見前～紫波町間の約8kmを担当しました。14の事業所と団体、総勢36名の参加者が、早朝の4号線沿いを激走しました。各事業所に手作りしていただいた小旗のおかげで、応援もとても盛り上がりました。

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



こずかた保育園

施設紹介

《こずかた保育園の特徴》

ケアセンター南昌の中で幼老交流をすすめ、入居者の皆様からは優しさを、子ども達からは元気をプレゼント、そこには自然に笑顔が広がります。また、「英語で遊ぼう!」「運動遊び」「フラワーフレンド」等の活動も、子ども達にとっては笑顔と元気の源です。こずかた保育園は、生後2か月からの乳児保育、24時間対応延長保育、体調不良児対応型保育、休日保育、一時預かり保育等を行い、働く保護者の応援をしております。

9月1日現在の園児数は113名となり、更に元気な声が園内いっぱい広がっています。今回は7月から9月の行事の一部を紹介させていただきます。



☆ 夏祭り 7月9日(土) ☆

【第1部】ワクワクドキドキのお化け屋敷を体験しました。出口での子ども達の表情は…ご想像にお任せします。その後は、矢巾町で当地キャラクターの「タケルンジャーショー」を見ました。悪役「米虫マン」に驚いて、泣いてしまう子もいましたが、最後はみんな「百米合カ タケルンジャー」の曲に合わせてダンスを踊り、元気いっぱい笑顔いっぱいでした。

【第2部】今年も保護者会の皆さんにご協力いただいた出店コーナーも大盛況!愛情溢れる品揃え。お腹も心も大満足の日でした。

☆ カレークッキング 8月26日(金) ☆

子ども達が育てた野菜を利用し、カレークッキングに挑戦。エプロンに三角巾の身支度を済ませ、気持ちはすっかりお母さん、お父さん。4・5歳児はピーラーと包丁を使い、野菜の皮を剥いたり切ったりしました。3歳児は、ピーマンの下処理やフルーチェ作りに挑戦。ボランティアさんの力もお借りして美味しいカレーが出来ました。おかわりを何回したのかわからないほどで、大きな鍋をたいらげました。



☆ 運動会 9月10日(土) ☆

「2016 こずかた国体!～みんながみんな英雄～」をテーマに掲げた今年の運動会。オープニングから最後のリズムまで上手に出来ました。小さい子ども達は何をしても可愛らしく、大きいクラスはたくましい姿もわり、成長に感動しました。みんなが英雄になり、金メダルが似合う今年の運動会でした。



今後の主な予定
(10月～12月)

- 10月 2日(日)…いわて国体参加(ラジオ体操・スポーツチャンバラ)
いわて国体における矢巾町で開催されるデモンストレーションスポーツ、「ラジオ体操」と「スポーツチャンバラ」に当園児も参加予定です。スポーツチャンバラは保育園行事としても取り組んできました。入賞を目指して頑張ります。
- 10月 6日(木)…いわて国体自転車競技観戦
- 10月13日(木)…紫波警察署交通安全教室
- 10月14日(金)…七五三のお祝い会
- 10月25日(火)…祖父母参観日(人形劇鑑賞)
- 11月 8日(火)…影絵鑑賞会
- 12月 3日(土)…お楽しみ会

こずかた保育園お問い合わせ先 / TEL.019-698-3008 FAX.019-611-0221

デイサービスつむぎ

施設紹介

通所介護施設：食事・入浴などの介護サービスや機能訓練が日帰りで受けられる施設です。

わんパト隊との交流



8/4(木) 矢巾町包括支援センターの全面協力のもと、わんパト隊の皆さんとの交流会が実現しました。8月初旬の午後ということで暑さが心配されましたが、西口公園の木々が木陰をもたらし、そよ風の吹く気持ちの良い環境で開催することが出来ました。日々町内のパトロールに尽力されているわんわんパトロール隊の皆さんですが、この日はその可愛い姿でデイサービスつむぎの利用者を喜ばせてくださいました。

平成27年度の法改正を受け、地域との連携や運営の透明性を確保する為、開設3年を迎えたつむぎでも第一回運営推進会議が開かれました。メンバーは矢巾町地域包括支援センター所長、矢巾1区民生委員、ケアセンター南昌事務長補佐(居宅支援事業所管理者)、利用者家族、事務局2名(つむぎ管理者、生活相談員)で構成され、つむぎの概要や利用状況、今年度のイベント報告と予定などについて協議しました。

第一回運営推進会議

家族から「助かっている。本人は喜んで通っています。」との声が聞かれ、大変励みになりました。



8/30の台風上陸への対応としては、センター長指示で13時にはサービスを終了し、自宅へ送り届けたことの報告がありました。幸いどの家族も在宅であったため、全員が帰宅することができました。今後も大雨、地震、火災といった有事の際は利用者の安全を第一に避難し、家族の元へお返しするという適切な対応を心掛けていきます。

博愛荘

施設紹介

介護老人保健施設：自宅で安心安全な生活がおくれるように、医療のもとリハビリを行いながら自宅復帰を目指す施設です。

祝 100歳

9月4日にお誕生日を迎えられ100歳になられた西條ヤシエさん。毎日、塗り絵や計算ドリルを行っており、計算ドリルは掛け算・足し算・割り算の混ざった計算も取り組まれています。

お祝いには紫波町長さんも来荘されて、家族、利用者の皆さんでヤシエさんの100歳のお祝いをしました。



博愛荘・こずかた保育園交流運動会

今年もこずかた保育園の園児と一緒に交流運動会を行いました。園児と利用者の協同での玉ころがしや、職員対抗の競技などを行ない大盛り上がりでした。園児の元気な姿に、利用者も元気をもらい笑顔がこぼれていました。



夕涼み会

炎天下の中、ケアセンター南昌の駐車場で夕涼み会が行われました。ヨーヨー釣りやカキ氷などの屋台めぐりや遊佐会によるさんさ踊りを鑑賞しながら季節を感じることができました。利用者の皆さん、カキ氷や好みの飲み物を片手に喉を潤しながら楽しい時間を過ごされていました。



誕生会(9月)

今月の誕生会は、紅白歌合戦を行いました。出場者は博愛荘3・4階、リハビリ、事務の男性と女性のスタッフに出てもらい白熱した闘いを、審査員のセンター長と利用者の21名に判定をしてもらいました。利用者の黄色い声援や笑い声が絶えない会になりました。



ショートステイやばば

施設紹介

短期入所生活介護(予防含)：短期間入所し食事、入浴、排泄などの介護、日常生活上の支援及び機能訓練が受けられる施設です。



「プチ運動会〜!!!」

夏の暑さを忘れてショートステイではひばり、うぐいすと分かれプチ運動会を行いました!!!

ピンポン玉入れでは小さい穴にピンポン玉を落とします。小さい穴に入れるのに悪戦苦闘していましたが、皆さん上手く入れることが出来ました。ひばり、うぐいす対抗で玉入れを行い皆、必死に入れて「頑張っ〜」と応援する声。パン食い競争では背を伸び合いっこして「取れたぞ〜」という元気な声が聞かれました。

夏の暑さを忘れて、いきいきと体も元気になりました。

「かき氷作り」



おやつのかき氷を作りました♪

それぞれ自分で氷を削り、シロップ、練乳、フルーツを盛り合わせ自分オリジナルのかき氷を作りました。「甘〜い」「フルーツ大盛り!」と皆甘い物には目がない様子でした。

フルーツをおかわりする方もおり、甘い物は食欲をそそります!冷たいけど皆完食しました。

冷たく、美味しくできたてを食べながら、会話も弾み職員も一緒に楽しい時間を過ごしました。



● 栄養指導研修会 ●



今年度より新たな取り組みとして利用者・家族の皆さんへ体重の減量を目的とした栄養指導の研修会を行っています。管理栄養士・リハビリスタッフを中心に、講義と運動指導を実践

指導しています。第一回目は7月20日(水)～22日(金)の3日間で行いました。12月までの計6回の開催を予定しています。家族の参加もあり9月15日(木)は18名の方が参加しました。

参加者からは「勉強になって良かった」「体操が楽しかった」「家ででの食事の事を考えたい」など、沢山の声がかれました。

参加者からは「勉強になって良かった」「体操が楽しかった」「家ででの食事の事を考えたい」など、沢山の声がかれました。毎月のテーマごとに作成した資料を使って栄養面運動面について指導しています。身近なテーマでもあり参加者はとても真剣に受講しています☆



● 祝100歳 ● 9月13日(火)

9月20日(火)で100歳になられる昆渥美さんのお祝い会を行いました☆

「長生きの秘訣は食生活です!!!」

「目指せ110歳!!! ☆」

当日は家族・保育園の子ども達・職員でのお祝いとなり終始和やかな雰囲気での会になりました。渥美さんからの100歳のパワーをいただき、私たち職員もこれからもっと皆様と楽しい時間を過ごしていけるよう努力していきたいと思っております。

本当におめでとうございます♥♥

敬寿荘

施設紹介

グループホーム：認知症の高齢者が共同で生活できる場(住居)で、食事、入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられる施設です。矢巾町在住者が対象です。

敬寿荘 夕涼み会

昨年より再開した夕涼み会を今年も開催することができました。天気の影響もあり、屋上ではなく5階ホールに場所を変更して行われました。今年も数多くのボランティア・地域の皆さんの協力を得て以前よりも豪華な会になりました。協力くださった皆さん、本当にありがとうございました。家族の皆さんからも「本当に地域に支えられて運営されているのだな」とのお言葉を頂きました。これからも地域との絆を深めて、より良いグループホームにしていきたいと思っております。



傾聴ボランティア



毎月一度、傾聴ボランティアが来荘されます。ボランティアの皆さんは入居者が話したいことを引き出すきっかけを作り、会話内容はほとんど入居者の話で終わります。ボランティア終了後も、皆さん穏やかな表情が続きます。毎月、傾聴の大切さが再確認できます。

敬愛荘

施設紹介

介護老人保健施設：病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。入所等の相談は支援相談員までご連絡ください！

行事風景『夕涼み会』 ～様々な屋台に心躍る～

利用者と季節の変化を感じながら敬愛荘では7月から9月にかけていくつかの行事が行われました。その中から夕涼み会についてお伝えします。この他にも9月に敬老会が行われ、最高齢103歳をはじめ4名の利用者のご長寿を漆原栄美子さんと矢巾町民謡保存会の皆様が民謡や手踊りなどでお祝いしました。また、月毎の誕生会が行われ、7月には北高田保育園、8月には北川保育園の園児達が利用者の前で歌やお遊戯を披露してお祝いしてくれました。そして、7月には不来方高校音楽部の皆様が天使の歌声を届けてくれました。歌や踊りで利用者は笑顔であったり涙を浮かべて楽しんでいました。皆様本当にありがとうございます。来年も是非いらしてください。

夕涼み会

7月20日快晴の中、敬愛荘ピロティー・駐車場にて夕涼み会を開催しました。去年までと違って屋台の種類が増え、お祭り感が増しました。利用者一人一人に食券が配られ、本人の要望を聞きながら屋台を回り、食べたい物を食べ歩きしていました。普段は口に出来ないアルコールやジュース、食べ物を美味しく食べて食べながら、一緒に回っている職員や他利用者と会話され、笑顔いっぱい過ごしていました。アルコールの為かほんのり顔を赤らめた利用者もチラホラ見られ、「おいしいなあ～」、「おかわりはないのか？」と美味しい食事とお酒に満足されている様子でした。

その後、職員とボランティアとして参加していただいた白ゆりグループの太鼓に合わせてさんさ踊りが始まりました。「さっころ～ちょいはやっせ」と職員や利用者同士声を出して踊っていました。この日の為に練習した利用者も一緒に太鼓をたたき参加しました。車椅子上で手踊りする利用者や手拍子して声を出している利用者などそれぞれに楽しまれていました。太鼓で参加した利用者は「思ったよりたけなかつた」、「もう少し練習したかった」と少し悔しそうでした。

スイカ割りでは、沢山の利用者、職員が参加し、一般棟と専門棟でどちらが早くスイカを割れるかを競争しました。なかなか割れないスイカでしたが、最後は男性の利用者が力強く叩いて見事にスイカは割れました。無事に割れたスイカは利用者、ボランティアの方々と職員で美味しくいただきました。

利用者、職員みんなで楽しんだ夕涼み会はあっという間に時間が過ぎていました。夕涼み会の間一般棟・専門棟の利用者の笑顔がいっぱい職員も嬉しく敬愛荘全体でよいひと時を過ごせたと思います。



研究発表 ～第27回全国介護老人保健施設大会 大阪での発表～

平成28年9月14日～16日に大阪にて開催された「全国介護老人保健施設大会(以後全国老健大会)」にて敬愛荘職員である歯科衛生士の伊藤真知子が「歯科衛生士と多職種連携による口腔機能向上の取り組み」というテーマで研究発表してきました。研究発表とは普段の仕事として行っていることの延長線上にある「+α」をすることで利用者にとどのような変化が見られたかを評価・考察し、これからのケアをより良くしていく為の研究です。発表の場は、荘内、隣接する病院、県内外の様々な大会等と範囲も規模も大小あります。その中でも全国老健大会はその名の通り全国の介護老人保健施設で勤務する職員が講演や、ポスターを使用した発表を行う為、発表される演題の数も参加人数も大変多くなっています。

今回発表された研究内容は、口腔リハビリテーションを目的としたレクリエーションを用いて、利用者の摂食嚥下(食べる・飲み込む)動作の向上を目的とした関わりについての研究でした。ストローを用いて物品を操作することで息を強く吸い込む・吐き出す動作を行ったり、「パ・タ・カ・ラ」の発音を唱歌の曲に合わせて発話していくことで口腔の筋肉、舌の動きの向上を目指し、摂食嚥下の向上につなげていった活動を発表する内容でした。興味を持った、詳しく知りたいと思った際は歯科衛生士までお話しください。

全国老健大会では施設で勤務する職員の発表の他にも様々な方の講演があり、聞くことができます。今回は鎌田實先生や綾戸智恵さんの講演、JR東海で起きた認知症の高齢者の列車事故に関して遺族や弁護士の話など様々な講演を聞くことで出来ました。このように発表することで自己研鑽ができ、講演を聞くことで多くのことを学ぶ事が出来ます。研究発表や講演で聞いたことを利用者へのサービスの質向上につなげていきます。

文化祭について

平成28年10月15日(土曜日)に「南昌福祉の里 文化祭」が開催されます。敬愛荘でも利用者様の作品や車椅子等の福祉機器の展示がされます。ぜひともお誘いあわせのうえ御来荘ください。利用者、職員共々心よりお待ちしております。



【安代雪絵ショー】

6月30日(木)、安代雪絵ショーを行いました。安代さんは毎年志和荘に慰問に来て歌を披露して下さいます。「あら～、お母さん久しぶり～！少し太った？」などとユーモアたっぷりに話をして、笑いを誘っていました。

また、安代さんの衣装も楽しみの一つです。去年はセクシーなドレスでしたが、今年は可憐な桃色の着物でした。

艶やかな伸びのある歌声は、梅雨空も吹き飛ばすように響き渡っていました。来年も是非いらして下さい。楽しみにお待ちしております！

【志和荘夏祭り】

7月22日(金)、志和荘夏祭りを行いました。地元の『南昌子供育成会』の皆さんと、志和荘選抜さんさ隊によるさんさ踊りが披露されました。「はらはらはらせ～」の威勢の良い掛け声と共に楽しそうに踊っていました。途中、入居者の方も何名か飛び入り参加し、「若い頃、踊ったったなあ～」としなやかな手つきで踊っていました。

最後はもう一つのお楽しみ、志和荘にわか花火師隊による花火ショーも行なわれました。

天気にも恵まれ、かわいい子供達の踊りも見られて、とても楽しいひとときでした。



【運動会】



8月4日(木)、運動会を行ないました。3階地域交流センターにて紅組と白組に分かれて戦いました。種目は『魚釣り競争』『パン食い競争』『全員参加・玉入れ』『職員リレー』の4つでした。特に盛りあがった種目は『パン食い競争』と『職員リレー』でした。『パン食い競争』では、ヒモにぶら下がったドーナツを必死に取ろうと頑張っていました。普段おしとやかな方もこの時ばかりは勇敢に戦っていました。『職員リレー』は、段ボールで作った輪の中に入り、這って進む競技で、バタンバタンと大きな音をたてながら進んでいきます。前が見えないために斜めに進んでいく人もいて「そっちじゃないよー！」「がんばれー！」と声援を受けていました。

優勝は僅差で紅組でした。真夏の運動会は抱腹絶倒、大盛況の内に幕を閉じました。

【枝豆採れたよ～ずんだ餠作り～】



9月のとある日、たけの町・うめの町合同、さくら町でそれぞれ『ずんだ餠』作りを行ないました。今年の志和荘農園は枝豆が大豊作でした。茹でた枝豆をさやから外し、ミキサーにかけ、たっぷりの砂糖を加えます。…すると、甘～くて美味しい『ずんだ餠』の完成です。「子供の頃、お母さんに作ってもらった『ずんだ団子』は美味しかったなあ～」「ウチは子供が好きだったからよく作ったわねえ～」などと話を花を咲かせながら作業をしていました。

出来あがった『ずんだ餠』を皆でいただきました。美味しい、美味しいと皆さんペロリと召し上がっていました。あまりにも美味しくて、お皿まできれいに舐めてしまう方もいました。まだまだ残暑厳しい日が続いていますが、豆まめパワーで頑張りましょう！



悠和荘

施設紹介

地域密着型介護老人福祉施設：地域密着型の施設です。入所は矢巾町の方限定ですが、短期利用はどちらの方でもご利用できます。先ずはご相談を！



★悠和荘 夕涼み会 7月28日★

今年も暑い夏がやってきました。(汗) 今年はやきとり・フランクフルトを屋台形式で行ってみました。良い香りが漂い皆さんの食欲が…食べ過ぎ注意!!! 毎年恒例のスイカ割りと花火も行いました。今年も力いっぱい棒を振り回したね!!! 危険! 危険! 【よいしょ! 割れない(がっかり) 誰か割って!!! 食べられないよー!!! (焦り)】雨も降らず花火出来て良かったね。【キレイだったね!!! たまや〜! かぎや〜! (笑顔)】

★敬老会 9月17日★

長寿者の方々おめでとうございます@やさやかな記念品ではありますが贈呈させていただきますので利用下さい。今年の余興は…犬吠森念仏剣舞保存会!!! 【子供たちの踊りがかわいい(笑顔) でっけ傘っこ回してらぁ(ビックリ!!!)】家族さんと一緒に食事や余興を観たりして過ごす事が出来て良かったですね。【家族に会えて良かった(笑顔) お弁当美味しい(笑顔) みんな帰らないで(涙) 寂しくなる(哀)】



★創作活動 7・8・9月★

7月は7日に緑色に塗った紙をヨーグルトやゼリーの空カップに貼り付けました。皆さん手を緑色にしながらかり付けていました。【手が汚れる(ビックリ!)】【上手く貼れないじゃ(悲)】8月も4日にラップ等の芯を使い花を作成しました。綺麗に出来皆満足そうでした。【綺麗に出来た(笑顔)】9月は1日に編み物でマットを作成したり白い紙に緑の絵の具で色付けを行ったりしました。【編み物出来るなんて凄いな!!!】文化祭の時に作品お披露目しますので楽しみにして下さい。



★園芸活動 7・8・9月★

8月25日に枝豆を収穫しました。入居者さんに枝から豆を採りました。塩茹でしていただきました。9月1日はスイカを収穫しました。入居者さんに抱えてもらい運びました。【重たい(苦笑) 落とさない様に(汗)】スイカはカットフルーツやジュースにしていたきました。その他にもキュウリやトマト、メロン等も収穫しました。10月にさつまいもの収穫と秋じまいをして今年度の園芸活動は終わりになります。



敬愛会デイサービスセンター

施設紹介

通所介護施設：食事・入浴などの介護サービスや機能訓練が日帰りで受けられる施設です。

楽しみながら自然に体を動かせる活動

デイサービスでは午後からレクリエーション活動を行っています。その中でも体を動かす活動は、ゲームを通して楽しみながら体を動かすことを目的とし皆さんが自然と体を動かせるように職員が工夫を凝らして様々なゲームを提供しています。

ゲームで使うものも身近にあるカゴを使ったり、再利用できるものは活用しながら毎回新鮮な楽しさを提供できるよう力を入れています。



ご長寿おめでとうございます

9月19日は敬老の日という事で、デイサービスではこの日から1週間を敬老週間とし、職員による余興や、オカリナショーなどを皆さんに楽しんでいただきました。皆さんの笑顔がみられて良かったです。デイサービス職員一同利用者の皆さんにこれからも笑顔で通っていただけるのを楽しみにしています!



若園町防災協力会



近隣にお住いの赤川様の協力と声掛けにより、地域住民から5名の方々にご賛同いただき、若園町防災協力会が結成されています。お互いに協力し合える関係作りを目的に食事会を兼ねた集会を開催して、今回で2度目となりました。今年度は南昌病院事務局からの出席と、介護老人保健施設敬愛荘社会福祉士出席の下、施設の防災訓練の実施状況、消防署の立入り査察の状況、施設内の消防用設備について等の説明と施設内見学や懇親会を平成28年8月26日に実施し、今後の防災意識の醸成に努めました。

いわて国体 希望郷いわて歓迎の花植え



サルビア・ペゴニア・マリーゴールドと3種の花植えをさせていただき、歓迎メッセージは利用者と職員が心を込めて記入しました。



「岩手のおいしいものを沢山食べて存分に力を発揮して下さい」「粘り強く頑張れ」等、熱い応援と歓迎のメッセージが書かれています。花を育てる期間は、皆さんの愛情が濃過ぎて根腐れを心配しましたが、その危機も乗り越え無事に競技会場へ運ばれ装飾されました。

防災の日



9月1日「防災の日」は盛岡市シェイクアウト実施に合わせ、午前11:00（ラジオもりおか）から放送される震度6弱の地震発生を想定した合図により、それぞれが過ごしている場所で身を守る安全確保の行動を実践しました。

身を低くしテーブルの下に入ったり、困難な利用者は寝具を被って頭を守る行動で訓練に参加し、地震に対する防災意識を高めました。

膝を床に着ける動作は普段の生活にはなく、利用者にとって難しい行為だったことを再確認することができました。



仙北中学生職場体験の受け入れ



体験したい職場に福祉施設を選んでいただき、大変有り難く思いました。昨年に引き続き若園荘へのご指名、感謝申し上げます。6名の生徒さん

から届いた体験前の抱負を一部紹介します。
 ○人を助けることや役に立つような仕事に興味がある。
 ○人に喜ばれるような仕事を体験したい。
 ○身体が不自由な人々が少しでも元気になってほしい。
 ○笑顔で相手に接しないといけないと思う。
 など優しい志しの下、体験学習に挑んでいました。



恒和荘

施設紹介

小規模多機能型居宅介護事業所：小規模な住宅型の施設で、通いのほか、訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。



今年の夏も祭りでワッショイ！



今年も恒和荘はまつり三昧・・・

今年の夏は例年に無く猛暑の日が長く続きました。8/6の恒和荘 / 新庄1丁目合同夏祭りも気温35℃という暑さの中で実施しました。そのせいかお客様の集まりが例年より少なかったのですが利用者は元気に最後まで楽しめました。ボランティアのバンド演奏や花垣会の新庄さんさ踊り、子ども達のタータル舞、町内女性部の屋台、家族、近所の皆さんと一体となったゲームの数々で大いに盛り上がりました。9月に入り某焼肉店の冷麺祭りに初めて行きましたが、食欲モリモリ、あの辛くて固めの冷麺をぺろりとたいらげる方もいてそのパワーにびっくり。食後はふれあいランド祭りにも参加。大勢の老若男女に混じり岩手大学生の民俗芸能踊りや保育士連の遊び歌などのステージイベントを楽しみました。15日には盛岡八幡宮祭りの山車を近所の方の配慮で席を設けて頂き、ゆっくり見ることができ、皆さん興奮して帰って来ました。利用者にとって、どのお祭りも、地域の方がたと一緒に楽しむことができたことが喜ばしい事だったと思います。



健寿を祝う会

9月17日、恒和荘利用者の健康と長寿を家族や近所の方々と一緒に祝いしました。津軽三味線日本一の日本郷土民謡協会御一行の三味線演奏や歌と踊りに音頭上げなど盛りだくさんに加え、ゲームや寸劇、そして一番笑いと感動を取った、恒和荘職員の華麗なるドジョウすくいには日頃無表情の方が笑ったり、無口な方がアンコールを叫ばれたり大盛況でした。バイキングでの昼食会も好評で皆さん喜んで下さいました。ドジョウすくい隊は今度だけでは勿体ないので踊りを強化してお呼びがかかればどちらでも再演したいと思っております(笑)



小規模多機能型居宅介護事業所のメリット

24時間365日の安心感がうれしい！

「通い」「訪問」「泊まり」どのサービスを利用しても、いつも顔なじみの職員がケアを行います。人数登録制のため、他の利用者・職員となじみの関係を作りやすく、家庭的な雰囲気の中で楽しく過ごすことができます。月額定額制のため、介護保険利用限度額からはみ出す心配がありません。24時間年中無休なのでいざという時にも対応可能。住み慣れた自宅で安心して在宅生活が送れます。柔軟かつ必要なサービス提供が可能なので家族の介護負担を軽減することができます。また、通いの提供時間も長めで、延長料金の加算もありません。通いでも食事を3食召し上がることも可能です。

♪♪お茶会へどうぞ♪♪

- 10月 ● ハーモニカ演奏&カラオケ
- 11月 ● 大正琴&ギター演奏

を予定しております(毎月第4土曜日の14時から開催しております。一緒に楽しんで下さるボランティアさんも募集しております)

認知症介護実践者研修に参加して

この研修に参加して、心に残っている言葉があります。それは、「認知症のAさんではなく、Aさんが認知症である」という言葉です。「Aさんは人生の途中でたまたま認知症になった」ということです。「病気」だと考え方を変わると認知症だから何もわからないし、何も出来ないというわけではないこと、うまく自分の思いを伝えられないなどが原因で様々な症状が生まれる(BPSD)ことを理解できました。周辺症状という言葉は知っていましたが、よく理解できていませんでした。今回の研修で、何か問題になるような行動が出てきた場合、どんな気持ちや思いがあって行動しているのかを考え、その気持ちに合った環境を整えることで行動が落ち着くかもしれない、本人のニーズを見つけることが大事だとわかりました。

それから、医学的理解の講義では怒られたことや否定されたことの内容は忘れてしまっても、怖い、悲しい、不安などの感情だけは残ってしまうことを知りました。実際、介護する中で本人は何か困っていることがあるのに職員の一方的な考えで行動させられたり、言動によって不安にさせていることがあるのかもしれないと思いました。研修を受けて、認知症について更に理解できたことが増えました。今後、事業所(恒和荘)での職場実習が残っていますが、この研修で学んだことを他の職員と共有しあい、生かしながら利用者のBPSDの原因を考え、本人の気持ちに沿ったケアの実践ができるようにしていきたいと思えます。(盛内)

平成28年度 岩手県委託研修 看護職再就業支援研修を実施して

看護科

(主催／岩手県 共催／盛岡職業安定所 実施機関／南昌病院)

全国的に看護師不足がいわれる近年、岩手県も例外ではなく、むしろ深刻といってもよいでしょう。

そこで、確保対策として厚生労働大臣の指定を受けて岩手県と岩手県看護協会のナースセンターでは、「看護職が働き続けられる職場環境づくり」や「再就業支援研修」などを推進しています。

「看護職再就業支援研修」については、病院がもしまわりで実施しています。

今年度は、当南昌病院で実施しました。

資格をもちながら、子育てや家庭の事情で現場を離れていた看護職の方々の研修です。

いってみれば、働きたいけど不安という気持ちの人の背中を押す応援研修です。

期間は、6月27日(月)～7月1日(金)の5日間でした。

南昌病院看護科では、この研修を実施するにあたり研修内容の検討、担当者の選出など事前の準備を入念に行ない、プログラムを作成しました

岩手日報に募集案内を出し、ナースセンターを通して6名の受講者の応募がありました。

離職期間は1年～10年と幅広くなっていました。

研修内容は、倫理・安全・感染の最新知識、看護技術の基礎などを盛り込みました。

受講者の方々は真剣な表情で研修にのぞんでいました。

私たちは、1人でも現場復帰できることを願い、不安を少しでも軽くしようと気持ちをこめて取り組みました。

岩手県内の看護師は常に不足しています。

一人でも再就業できればと願った深い研修でした。

私たちも、地域の皆さんの医療を担う病院の看護・介護職として、例えば、結婚・出産・子育て・家族の介護などが必要になったとしても、退職せず、いつまでも働き続けられるようにお互いに助け合ってきたものです。



一人ひとりに合った支援 リハビリテーション

専門スタッフがチームを組んで集中的にリハビリを実施

365日リハビリテーション提供(回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病床)!!

南昌病院・敬愛荘・博愛荘・訪問リハビリテーションこすかた……

リハスタッフ総勢98名(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)(ほかに臨床心理士2名)

住民主体の介護予防と地域づくり その②

～「岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業」への協力を終えて～

シルバーリハビリ体操とは？

今回は、岩手県における「シルバーリハビリ体操指導者養成講習会」について、どのような取り組みであるかご紹介いたしました。今回は、その中で行われる「シルバーリハビリ体操」というものはどのような体操であるか、実際の例も交えながらご紹介いたします。

「シルバーリハビリ体操」は、茨城県立健康プラザの管理者である大田仁史先生が考案した体操です。大田先生はリハビリテーションの専門医師であり、前回ご紹介した茨城県における「シルバーリハビリ体操指導者養成講習会」の産みの親でもあります。

「シルバーリハビリ体操」は、ボールや鉄アレイなどの道具はいっさい使わずに、どのような姿勢でもできるように組み立てられています。もともとの成り立ちは、脳卒中などによって障がいをもたれている方や寝たきりの方を「どのように座り、立てるようにするか？」といった、障害学や動作学をもとにしています。

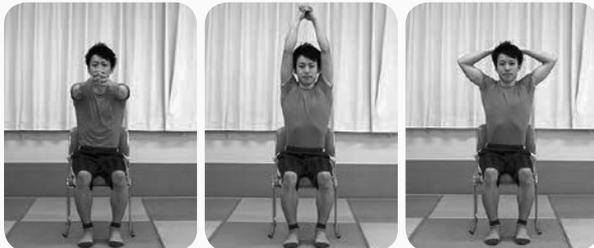
ですから、ご高齢で体力に自信がないという方でも十分に行える体操です。

体操は全部で92種類あります。なぜこのくらい多いかといいますと、まず、行う姿勢が「床に寝るまたは座る」、「椅子に腰かける」、「立つ」の3パターンに分かれます。そして、効果としては「体の柔軟性を高める体操」と「筋力をつける体操」の2つに分けられます。その組み合わせの中で、効果のターゲットとする体の部位を細かく分けて（顔、首、肩、腕、胴体、腰、骨盤、股、膝、足、つま先など）行いますので、それらを組み合わせると92種類のパターンになるというわけです。

92種類と聞くと、とても多くて大変だと思われるかも知れませんが、体操で行う動きは単純な運動の組み合わせですので、すぐに覚えることができます。どのような体操か一例をご紹介します。

「手を組んで頭の後ろに手をまわし、肘を開いて胸を伸ばす体操」

この体操は、大胸筋という胸の筋肉を伸ばし、肩の痛みや肩こり予防に効果があるといわれます。



とても簡単な体操です。「普段の生活でもこういう体操をやっているよ」という方も結構いらっしゃるのではないのでしょうか？

また、数ある体操の中にはユニークな名前の体操や特徴的な動きの体操もあります。例えば…

「お足様」

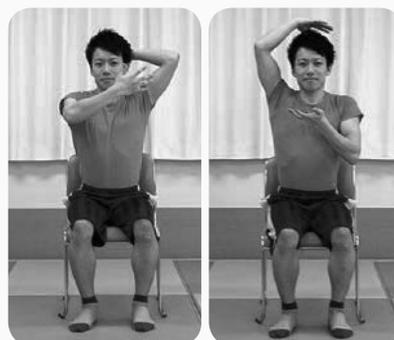
足をおへそにひきつけるように持ち上げる体操です。まるで大切な宝物のように足を抱え上げる動きをするので、このよう



な名前がつけられたのかも知れません。これは、股関節のまわりを柔らかくする効果があります。

「猿まね体操」

手のひらを常に顔・頭に向けて、左右および前後方向にゆっくりと大きく動かす体操です。猿のポーズ？のような動きをするこの体操は、肩の関節を柔らかくする効果があります。手のひらを常に顔や頭に向けるようにする理由は、肩の関節の構造上、そのほうが肩を痛めないように動かすことができるからです。また、顔を洗う、頭を洗う、着替えをするなど、私たちが普段の生活の中で行う動きに共通する体操です。



いかがでしょうか？専門的な視点で考えられていて、生活に役立ち、そして簡単にいつでもどこでもできる体操です。一度に全ての体操を行う必要もありません。その時に行いたい体操を選んで行うので十分です。また、一つの体操にかかる時間も、からだの柔軟性を高める体操であれば15秒程度、筋力を強化する体操であれば5～6秒程度ですので、まとまった時間がなくても、ちょっとした時間でできます。少しずつでも毎日続けることが大切になります。

私達も運動教室などで地域の皆さんと一緒に体操を行なうことがありますが、実際に体操を行うと、体の動きがよくなることを実感します。これを一人よりも二人、二人よりも三人、と集まって行えばさらに楽しく効果倍増!! です。

岩手県で昨年養成された「シルバーリハビリ体操指導者」は、それぞれの地域で活動を始めております。ボランティアを主とした住民同士の支え合いの良いところは、制度の変化や財源の有無も関係なく、それぞれの地域で持続可能なところにある。と、大田先生は説きます。まさに、自助と互助に基づく「住民主体の地域づくり」にほかなりません。

「シルバーリハビリ体操指導者養成講習会」は、これからは県内のモデル自治体を中心に開催されながら、徐々に県内全域に広がるものと思われます。地域住民の健康増進のために活躍するボランティアの輪がどんどん広がっていくように、盛岡南部地域リハビリテーション広域支援センター（南昌病院）としても、支援をしてみたいと思います。

Topics

サルコペニア

サルコペニアとは

ギリシャ語で筋肉を表す「サルコ」と減少を表す「ペニア」を組み合わせた言葉で、「加齢に伴い筋肉量が減少し、筋力や身体機能が低下している状態」をいいます。骨折のリスクが高まり、要介護状態や寝たきり状態の原因となるため、介護予防にはサルコペニア対策が必要となります。

～サルコペニアチェック～

- ① 体格指数（※BMI）が18.5未満
- ② 横断歩道を青信号で渡りきれないことがある
- ③ ペットボトルやビンのふたが開けにくい

※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

①に加え、②や③にあてはまる方も要注意!!

さらに・・・

★嚥下機能の低下も注意 飲み込みに必要な筋肉も低下する可能性があります。

★やせ型だけでなく、肥満も注意 脂肪が多く、筋肉が少ない状態を「サルコペニア肥満」と呼びます。肥満とサルコペニア、両方のリスクを併せ持つ為、注意が必要です。



「栄養」と「運動」の両立で、サルコペニア予防を！

栄養改善 低栄養状態は、筋肉質のたんぱく質（筋蛋白質）の減少を加速させ、筋力の低下につながるため、十分な注意が必要です

- 肉・魚・卵などの良質たんぱく質欠かさず
- 食事は主食・主菜・副菜をそろえて、3食バランスよく
- 牛乳・乳製品でカルシウム、ビタミンDを補給
- 筋肉の材料になる「BCAA」を含む食品の摂取

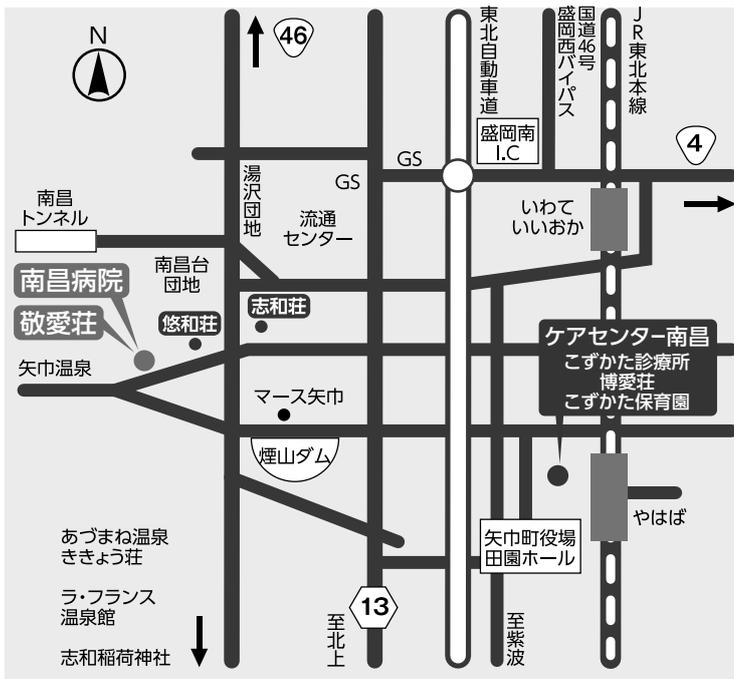
日常生活と運動 毎日の生活を活動的にすることで、筋肉量の維持・増強は可能です。無理なく少しずつ進めましょう。

- 座っている時間を減らす
- 日常的に動く週間をつける
- ちょっとだけきつい運動をする
- 筋トレ（スクワットをする）

筋肉とBCAA

体内で作ることの出来ないアミノ酸（必須アミノ酸）のうち、**バリン・ロイシン・イソロイシン**の3種類を**BCAA**と呼びます。BCAAは筋肉の材料やエネルギー源にもなります。中でもロイシンは、たんぱく質の合成を促すだけでなく、筋肉の分解を押さえる働きなどにも関わっています。また、筋肉のたんぱく質合成を促す為には、運動やリハビリ後30分以内にBCAAやたんぱく質を摂取することが効果的といわれています。

矢巾町エリア



盛岡市エリア



南昌病院診療案内 診療時間 9:15~17:00

| | | |
|---|----------------|----------------|
| 月 | 神経内科 | 佐藤 典子 |
| 火 | 内科 | 小原 進 |
| 水 | 脳神経外科 循環器内科 | 山口 一彦 西城 精一 |
| 木 | 脳神経外科 | 齊木 巖 |
| 金 | 外科 | 菅野 千治 |

こずかた診療所診療案内 診療時間 9:00~17:30

| | | |
|---------------|----|-------|
| 内科・リハビリテーション科 | | |
| 月~金 | 内科 | 三浦 秀悦 |
| 月・火(午前)・金 | 内科 | 足澤 輝夫 |

休診日：土曜・日曜・祝日

編集後記

◆去る、8月30日に岩手県に上陸した台風10号は、宮古市、岩泉町、久慈市などに甚大な被害をもたらし、各地で道路が寸断されました。特に岩泉町では川の氾濫により多くの方が亡くられました。近頃の台風や雨は、地球温暖化の影響もあるのか特別に激しくなっているような気がします。そして災害の度に聞かれるのは「想定外」との言葉です。「想定外」の事態に対処するには、私達はどうすれば良いのでしょうか。「まだ、大丈夫」と思った時点で、「念のためより安全なところにと」考え、空振りになったとしても行動に移すしかありません。災害は、忘れた頃ではなく、いつでも起こると思わなければ。◆岩手県で国体が開かれています。第71回国民体育大会です。スローガンが「希望郷いわて」です。前回、岩手で国体が開催されたのは第25回目のときに開催されました。46年前の昭和45年(1970年)です。この年には、大阪万博が開催、よど号のハイジャック事件。NHKの大河ドラマは山本周五郎の「もみの木は残った」などです。そのときの国体のスローガンは、「みんなの国体、のびゆく岩手」でした。日本は、まさに高度経済成長の真っ最中。今思い起すと隔世の感が…。

南昌だより

編集・発行/医療法人社団帰厚堂
印刷/社陵高速印刷株式会社

〒0208-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181
E-mail: kikkodo@kikkodo.or.jp
〒0200-0811 岩手県盛岡市川目町2-3-2

盛岡中央工業団地
TEL 019-6511-2110

TEL 019-697-5211
FAX 019-697-5215

| | | | | |
|----------------|--------------------------|-----------------------------|------------------|------------------|
| 医療法人社団 帰厚堂 | ■南昌病院 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181 | TEL 019-697-5211 | FAX 019-697-5215 |
| | ■介護老人保健施設 敬愛荘 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181 | TEL 019-697-3288 | FAX 019-697-0641 |
| | ■小規模多機能型居宅介護事業所 恒和荘 | 〒020-0805 盛岡市東新庄1丁目7-23 | TEL 019-681-4166 | FAX 019-604-1120 |
| | ■グループホーム 若園荘 | 〒020-0886 盛岡市若園町8-11 | TEL 019-601-5501 | FAX 019-604-1660 |
| | ■ケアセンター南昌 | 〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵工新田5-67-1 | TEL 019-698-2015 | FAX 019-611-2071 |
| | ◆こずかた診療所 | | TEL 019-698-3033 | FAX / |
| | ○訪問リハビリテーションこずかた | / | TEL 019-611-1380 | FAX / |
| | ◆介護老人保健施設 博愛荘 | / | TEL 019-698-2015 | FAX / ※ |
| | ◆博愛荘デイケアセンター | / | TEL 019-697-1526 | FAX / |
| | ◆デイサービスつむぎ | / | TEL 019-698-2015 | FAX / ※ |
| | ◆訪問看護ステーションやはば | / | TEL 019-698-1388 | FAX / |
| | ◆ヘルパーステーションやはば | / | TEL 019-698-1385 | FAX / |
| 社会福祉法人 敬愛会 | ◆訪問入浴介護やはば | / | TEL 019-698-1385 | FAX / |
| | ◆やはば指定居宅支援事業所 | / | TEL 019-697-0537 | FAX / |
| | ◆ショートステイやはば | / | TEL 019-698-2015 | FAX / ※ |
| | ◆グループホーム 敬寿荘 | / | TEL 019-697-9002 | FAX / |
| | ▲こずかた保育園 | / | TEL 019-698-3008 | FAX 019-611-0221 |
| | ▲矢巾町地域包括支援センター | / | TEL 019-611-2855 | FAX 019-611-2937 |
| | ●特別養護老人ホーム 志和荘 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-100 | TEL 019-697-6355 | FAX 019-697-6356 |
| | ●地域密着型介護老人福祉施設 悠和荘 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312 | TEL 019-698-1661 | FAX 019-698-1671 |
| | ●敬愛会老人デイサービスセンター | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-514 | TEL 019-697-5953 | FAX 019-697-7680 |
| | ●指定居宅介護支援事業所 | 〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312 | TEL 019-697-0880 | FAX 019-698-1671 |
| ●矢巾町地域包括支援センター | | | | |
| さわやかハウス相談室 | 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅14-78 | TEL 019-697-5570 | FAX 019-697-5570 | |

※ケアセンター南昌代表電話